

2013 年度活動報告書

特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪

2013 年度 事業報告

I. 事業期間

2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日

II. 2013 年度総括

2013 年度 総括

十三に拠点を移して2年度目となる今年度は、サタデイクラスを中心とした外国にルーツを持つ子どもたちへの支援活動が活発になるとともに、助成金をもとにした事業も増え、久しぶりに活気のある1年となりました。

今年度始めて実施した「外国人母子の生活支援モデル事業」(福祉医療機構助成)では、淀川区、西淀川区、尼崎市をフィールドとして、生活困窮に陥りやすい母子世帯の実態を把握すると共に、母子保健や子ども就学に必要な日本語および必要な知識を習得する教室を開催しました。日本での滞在が長くなっても地域とのつながりが薄い外国人母子世帯の現状を知ることができ、今後もこのような事業の必要性を強く感じました。今年で8年目になる文化庁委託の生活者のための日本語習得支援事業による漢字教室は、今年も大阪市立総合生涯学習センター等との連携により実施することができましたが、単年度の委託事業や助成事業として実施することの限界も感じました。

2015年1月で、私たちの活動のきっかけとなった阪神・淡路大震災の発生から20年の節目を迎えます。地域で暮らす外国人住民が安心して暮らすためのしきみを整えていくことに、そろそろ本気で着手しなければならないのではないかと感じています。次の1年は、これまでに築いてきたさまざまなつながりを活かしながら、20年でここまで出来た、という納得感がある年にしたいと思います。

III. 事業の実施状況

<定款に定める事業>

特定非営利活動に係る事業

1. 日本で生活する外国人への支援活動
2. 多文化共生に関する研修、調査、研究
3. 多文化共生の概念を普及するための啓発及び情報発信
4. 前各号を実施するための、その他の支援事業

1 日本で生活する外国人への支援活動

サタデイクラス (外国人小中学生対象の学習支援教室)

2012年9月に中央区より淀川区に移転。また、運営体制についても2012年7月を目途に、坪内好子、(特活)多文化共生センター大阪、(特活)多民族共生人権教育センターで構成していた運営委員会を解散させ、(特活)多文化共生センター大阪の1プロジェクトとして再出発したことから、2013年度は地域に根ざした活動、運営体制を強化することに注力し、より多くの外国にルーツをもつ子どもたちを受け入れてきた。主な取り組みは以下の通り。

1) 学習支援教室の開催

概要：英語、数学を中心とした教科支援や日本語の学習を実施し、また中学に在籍せず直接、高校を受験する子どもを受け入れ、志望校合格を目指した。

■実施回数：48回

■参加者数： 学習者登録数 46 人、ボランティア登録数 37 人（2014 年 3 月末現在）

■学習者の出身国：ペルー、ベトナム、ネパール、中国、フィリピン、タイ、モンゴル、韓国、アメリカ、日本など

■受験生：今年度の受験生数は 13 名（出身国別人数：中国 5 名、フィリピン 4 名、アメリカ 1 名、ネパール 1 名、タイ 1 名、ペルー 1 名）で、全員が全日制高校あるいは大学に合格した。

■学習者： 毎回 10 名前後の子どもたちが出席した。多いときは 15 名程度の参加者があり、教室内では全員学習できず、2 階の事務所と分かれて勉強した。

■ボランティア：月 1 度、ボランティア希望者向けにボランティア体験講座を開催。外国にルーツをもつ子どもの背景やサタデイクラスの活動について説明した後、活動に参加してもらった。12 名の参加者があった。また、今年度は甲南女子大学社会貢献室ボランティアセンターを通して、3 名の学生ボランティアの受け入れを実施した。

■見学：今年度は、比較的見学の数が少なかった。

- ・兵庫県立川西北陵高等学校
- ・大阪府立茨木高等学校
- ・東大阪「曙光」
- ・NPO 法人「もみじ」代表
- ・大阪市西淀川区役所
- ・公益財団法人香川県国際交流協会
- ・(特活) とんだばやし国際交流協会
- ・(特活) 関西国際交流団体協議会

2) 母語・継承語支援プロジェクト

大阪ガスグループ“小さな灯”運動 30 周年記念 「子ども支援市民活動 助成プログラム」受賞による活動。2013 年度で 3 年目（最終年度）にあたる。日本語での支援だけではなく、母語・継承語の保持・伸長も子どもたちのアイデンティティ形成や日本語能力向上のためには非常に重要であるため、母語の話せる支援者を教室に招き、母語を使える環境を提供した。

実施時期：2013 年 4 月～2014 年 3 月

対象：サタデイクラス学習者

3) クリスマス会

サタデイクラスに通っている子どもを中心として、様々な国の子どもたちとボランティアが集まり、

母語による交流や国籍・言語を越えた交流を目指す場としてクリスマス会を実施した。

実施時期： 2013年12月22日（土）13:00～17:00

対象：ボランティア、学習者、他団体協力者など

内容：演奏会、ケーキ作り、クイズ、ビンゴ大会、ツリー飾り付け

場所：ダイバーシティラボ大阪セミナールーム（旧：十三フリースペース）

協力団体：大阪ガス株式会社、富士ゼロックス株式会社、コクヨ株式会社、関西学院大学、豊崎中学校
日本語教室

4) ボランティアスキルアップ講座

淀川区社会福祉協議会福祉ボランティア活動応援資金による事業。サタデイクラスにボランティア登録している人対象にボランティアスキルアップ講座を開催する。ただ子どもたちに日本語や教科を教えるというボランティア活動ではなく、子どもの背景や課題を理解し、より子どもに寄り添うボランティア活動を行うことができるような内容のものとした。

対象：サタデイクラスボランティア登録者

内容：第1回 8月17日（土）14:00～14:50 小学校での外国ルーツのこどもたちの様子

第2回 11月16日（土）14:00～14:50 中国にルーツをもつ子どもの背景について

第3回 2月15日（土）14:00～14:50 児童虐待などについて

第4回 3月29日（土）14:00～14:50 外国にルーツをもつ親として、地球人として。

場所：ダイバーシティ大阪セミナールーム（旧：十三フリースペース）

6) 外国にルーツをもつ子どもへの支援ブラッシュアップ講座

平成25年度大阪市NPO・市民活動企画助成事業。年々外国にルーツをもつ子どもたちは増加しているが、学校あるいは地域での学習機会の保障や学習内容の理解への支援がまだまだ不足している。市民に向けて講座を開催することで、外国にルーツをもつ子どもの問題や課題を広く周知した。

対象：一般市民

内容：第1回 9月7日（土）10:00～12:00「いま、外国にルーツをもつ子どもたちの現状は・・・」

内容：外国にルーツをもつ子どもたちの現状と課題

講師：松本一子氏（愛知淑徳大学非常勤講師）

第2回 9月28日（土）10:00～12:00「学校のともだち」

内容：大阪市立中学校での対応、子どもたちのつながりについて

講師：小林悦子氏（大阪市立豊崎中学校日本語教室担当）

第3回 10月5日（土）10:00～12:00「地域のともだち」

内容：地域の支援教室での子どもたちのつながりについて

講師：斎藤裕子氏（にほんごサポートひまわり会代表）

第4回 10月19日（土）10:00～12:00「高校のともだち」

内容：大阪府立高校での対応、子どもたちのつながりについて

講師：橋本義範氏（NPO 法人おおさかこども多文化センター事務局長）

第5回 10月26日（土）10:00～12:00「母語支援」

内容：学校現場での母語支援活動、子どもたちのつながりについて

講師：高瀬瑛子氏（大阪府・大阪市母語支援協力者）

場所：大阪市立総合生涯学習センターおよび

ダイバーシティラボ大阪セミナールーム（旧：十三フリースペース）

7) 十三市（地域のフリーマーケット）への参加

地域の人との交流を通して、サタデイクラスの活動について知ってもらいきっかけとなった。また、サタデイクラスの活動資金をボランティアだけでなく子どもたちもいっしょに集めることにより、自分たちの教室はみんなで協力して運営しているのだという意識付けにもなった。

日時：2013年7月13日（土）9:00～13:00

場所：神津神社（活動場所のダイバーシティラボ大阪セミナールーム隣）

8) おつかれさま会

大学受験、高校受験を終えた子どもたちを中心に、1年間サタデイクラスに参加し勉強をがんばった子どもたち、熱心に参加してくれたボランティアに参加してもらい、今年度の振り返り、来年度の目標を共有する場とした。今年度もボランティアの協力のもと、お抹茶体験を実施した。

【収入】263,817円

【支出】523,589円

【実施場所】大阪市内

【時期】通年（毎週土曜日）

【対象者】主に6～18歳程度の子ども

TABUNKA SHINGAKU JUKU（外国人中学生対象の学習塾）

外国にルーツをもつ子どもたちのための学習塾を開講。全12回のコースで、今年度の対象は外国にルーツを中学3年生および母国で中学校を卒業し、高校進学を目指している子どもとした。高校合格を目標に、英語・数学・母語作文・日本語指導を行った。

第1期生9名（中国：6名、アメリカ1名、タイ1名、フィリピン1名）全員が大阪府立高等学校前期入学者選抜、兵庫県立高等学校推薦入学に合格。来年度も第2期生を募集し、引き続き本事業を実施することとする。立ち上げ・運営資金に関しては大阪市ボランティア活動振興基金・地域福祉的な非営利法人支援事業（チャレンジ支援）より助成をいただき実現した。

【実施場所】ダイバーシティラボ大阪セミナールーム

【時期】2013年12月7日～2014年2月15日（全12回）

【対象者】外国にルーツをもつ中学3年生および母国で中学校を卒業し高校進学を目指している子ども

「多文化進路ガイダンス」への協力

来日間もない外国人児童生徒やその保護者が日本の教育システムや受験制度の成立ちを理解するのは難しい。日本の子どもたちと同様、外国人の子どもたちも希望すれば高校に進学できるよう、府内の高校で多文化進路ガイダンスを実施した。

主催：「多文化進路ガイダンス」実行委員会

(財)大阪国際交流センター、大阪府立学校在日外国人教育研究会
大阪市外国人教育研究協議会、(特活)多文化共生センター大阪

後援：大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

協力：地域人権教育推進委員会、大阪府在日外国人教育研究協議会

1) 第1回多文化進路ガイダンス

日 時：2013年7月19日(金)

場 所：大阪市立南高等学校

内 容：言語別での進路説明

教職員むけの進路説明・高校との交流

高校生との交流

対応言語：6か国語

出席者数：125名(生徒36名、保護者29名、引率教職員26名、スタッフ他34名)

2) 第2回多文化進路ガイダンス

日時：2013年9月29日(日)

場所：大阪国際交流センター

内容：高校別個別ブースにて、個別相談会

【収 入】0円

【支 出】0円

【実施場所】大阪府内

【時 期】2013年7月19日、2013年9月29日

【対 象 者】大阪府内の中学生とその保護者

「Minami こども教室」への協力

大阪市中央区内の小学校では、国籍が13カ国以上の子どもたちが在籍し、その中には、日本語での学習に困難を抱えたり、仕事が忙しい保護者との時間が持てず、1人で過ごすケースが多くみられる。このような外国にルーツをもつ子どもたちの学習支援と居場所作りのため、「Minami こども教室」が立ち上がった。当センターでは、実行委員会への参加、コーディネーターの派遣を実施し、協力した。

実施日時：2013年5月開始、月2～4回開催

実施場所：大阪市立南小学校(大阪市中央区東心斎橋)及び中央区子ども子育てプラザ

実行委員会構成員：(特活) 関西国際交流団体協議会、(特活) コリア NGO センター、(特活) 多文化共生センター大阪、公益財団法人大阪国際交流センター、大阪市立南小学校、大阪大学未来戦略機構、日本語教育経験者

【収入】 111,300 円

【支出】 41,100 円

【実施場所】 大阪市中央区

【時期】 2013 年 5 月～2014 年 3 月

【対象者】 大阪市中央区内の小学校に通う外国にルーツをもつ子ども

【受託事業】 H25 年度文化庁委託事業「日本で暮らしている外国人のための漢字教室」

文化庁からの委託を受け、「日本で暮らしている外国人のための漢字教室」を実施した。本事業の目的は、日常生活において必要な漢字を認識すること、また自律して学習することができるようになることを目標とする。留学生とは異なり、いわゆる「生活者としての外国人」とよばれる外国人住民は、日本語を生活の中で身につけているケースが多い。そのような形で身につけた日本語などの音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指した。

なお、本講座を開催するにあたり、大阪市立総合生涯学習センターに多大なるご尽力をいただいた。

事業概要：本年度は、3つの事業を実施した。

1) 日本語教室の設置・運営

日常生活において必要な漢字を認識すること、また自律して学習することができるようになることを目標とした。留学生とは異なり、いわゆる「生活者としての外国人」とよばれる外国人住民は、日本語を生活の中で身につけているケースが多い。そのような形で身につけた日本語などの音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指した。

2) 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

パソコンを使って漢字を学習するための方法を模索し、それを実践するボランティアの養成を行った。

3) 日本語教育のための学習教材の作成

オリジナル教材を開発した

以下、各々の事業内容詳細を記載する。

1) 日本語教室の設置・運営

講座名称：定住外国人のための「生活の漢字」教室ーパソコンで楽しく学ぼうー

講座実施期間：2013 年 7 月 3 日～2014 年 12 月 18 日

毎週木曜日 9 時 30 分～12 時 全 24 回 (60 時間)

実施場所：大阪市立総合生涯学習センター メディア研修室（視聴覚室）および研修室

*月に1回は教室で書くこと中心の活動、その他の日はパソコンを用いて授業を行った。

実施内容：

回	開催日	トピック
1	7月3日	開講式：パソコンの操作、かな入力、ニーズ調査
2	7月10日	カレンダー
3	7月17日	駅、路線図
4	7月24日	スーパー
5	7月31日	食べ物
6	8月7日	食品表示
7	8月21日	日本人の名前
8	8月28日	部首、語構成
9	9月4日	学校・幼稚園
10	9月11日	お便り
11	9月18日	災害情報
12	9月25日	部首、語構成、送り仮名、文を書く
13	10月2日	病院
14	10月9日	薬
15	10月16日	求人情報
16	10月23日	区役所・市役所
17	10月30日	文を書く
18	11月6日	ATM
19	11月13日	ATM
20	11月20日	不在連絡票
21	11月27日	住所を書く
22	12月4日	年賀状
23	12月11日	公共料金
24	12月18日	修了式

受講者について：

・受講者の総数 24 人

出身・国籍別内訳 韓国(5人)、中国(5人)、タイ(4人)、フィリピン(3人)、メキシコ(2人)、ベトナム、キューバ、スペイン、エクアドル、ペルー(各1人)

2) 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

講座名称：日本に住んでいる外国人のための漢字学習支援者養成講座

講座実施期間：2013年5月25日～2013年10月26日毎週金曜日9時30分～12時 全12回(30時間)

実施場所：大阪市立総合生涯学習センター

実施内容：

回	開催日	トピック
1	5月25日	外国人と文字習得
2	6月1日	漢字学習のシラバスを考える
3	6月8日	漢字学習の体系化
4	6月15日	パソコンを活用した漢字学習支援①

5	6月22日	パソコンを活用した漢字学習支援②
6	6月29日	教材作成オリエンテーション
7	7月～9月の1日	漢字教室見学
8	7月～9月の1日	漢字教室見学
9	10月5日	教材作成1
10	10月12日	教材作成2
11	10月19日	教材発表
12	10月26日	受講者による発表
13	10月2日	病院

受講者について：

- ・受講者の総数 20人（日本国籍19名 韓国・朝鮮籍1名）

3) 日本語教育のための学習教材の作成

教材名称：見て学ぶくらしのなかの漢字2

対象：漢字を学びたいと思う定住外国人

目的・目標：日本に住んでいる外国人のための漢字教材、特に支援者と一緒に漢字を学習する際に用いる教材を作成する。

構成：総ページ数 24課（1課6ページ） 総ページ144ページ

目次(もくじ)			
写真篇		しゃしんへん	
1	数字		すうじ
2	病院		びょういん
3	薬		くすり
4	食品表示		しょくひんひょうじ
5	災害情報		さいがいじょうほう
6	水道代・ガス代		すいどうだい・ガスだい
7	買い物		かいもの
8	ATM 引出		ATM ひきだし
9	ATM 振込		ATM ふりこみ
10	駅・路線図		えき・ろせんず
11	学校		がっこう
12	お便り		おたより
13	アルバイト情報		アルバイトじょうほう
14	日本人の名前		にほんじんのなまえ
15	市役所		しやくしょ
16	住所を書く		じゅうしょをかく
17	年賀状		ねんがじょう
18	不在連絡票		ふざいれんらくひょう
ルール篇		ルールへん	
19	漢字を書く		かんじをかく
20	漢字を切ろう		かんじをきろう
21	漢字の読み方		かんじのよみかた
22	漢字のことば(1)		かんじのことば(1)
23	漢字のことば(2)		かんじのことば(2)
24	文を書こう		ぶんをかこう

■事業に対する評価について

・目標の達成状況・事業の成果

これまで述べてきたとおり、漢字教室及び養成講座の受講生に実施したアンケート結果から本事業における目標である「日常生活において必要な漢字を認識すること、また自律して学習することができるようになること」また「漢字学習支援者の養成」は達成できたと思われる。

・標準的なカリキュラム案の地域での活用について

作成した教材に、標準的なカリキュラム案と関連する項目がある場合はそれを示した。また養成講座にて受講生に紹介し、活用方法を考えた。標準的なカリキュラム案について気づいた点は、標準的なカリキュラムは生活場面について様々なケースが挙げられているので参考になるが、会話の習得が主であり、読み書きについては触れられていない。今後は文字習得の側面においても標準的なカリキュラムを作成する必要があると思われる。

・地域の関係者との連携による効果、成果 等

大阪市立総合生涯学習センターと運営面で連携、協力を得た。また本事業での実践を活動に取り入れるということで、大阪市市役所職員 田中聡氏、甲南大学大学院人文科学科 日本語日本文学大学院生、の見学を受け入れた。なお、浜松市外国人学習支援センターから、生活の漢字学習支援についての講座の要請を受け、浜松市に赴いた。さらに、地域の別団体との連携という意味で、本講座を修了後に別の日本語教室で継続的に学習ができるように、大阪府下の日本語教室一覧を受講者に配布した。それに加え、授業でインターネットを用い、居住地の近くにある日本語教室の検索の仕方を受講者に紹介した。

・改善点、今後の課題について

漢字教室、養成講座、教材作成を同時に決められた予算で行うことで、講座の周知にトラブルが起きたり、PC教室の利用をあきらめたりと、運営や内容について支障が出た。3つの事業について全て満足のいく内容にするためには、予算や設定時間について現状では無理があると感じる。漢字教室の受講生に行ったアンケート調査にもあるように「開催期間が短い」といった声があがっている。このように、今後は単発的な事業ではなく、複数年実施できるような形態が必要ではないかと思う。最後に、漢字の習得を含めた在住外国人の日本語学習全般が公的な保障のもとで、継続的に行われることを切に願う。

【収 入】1,904,640 円

【支 出】1,731,104 円

【実施場所】大阪市立総合生涯学習センター

【時 期】2013年5月18日～2013年12月18日

【対 象 者】日本に在住している非漢字圏の外国人住民およびボランティアを希望している市民

【受託事業】H25 年度福祉医療機構助成事業「外国人母子の生活支援モデル事業」

福祉医療機構より助成金を受け、言葉や習慣のちがいがから生活困難に陥りやすい外国人母子世帯が、子どもの就学や母親の就労の安定を通じて安定した生活を形成できる状態を実現することを目的に、大阪北部および尼崎市で暮らす外国人母子を対象とした、母子保健・就学・就労分野での日本語や生活に必要な知識を習得する教室を実施した。

対象者と実施内容

<p>大阪市淀川区 対象者：十三地域で接客業に従事するフィリピン人女性とその子ども</p> <p>支援方針：相談会開催による母親の悩み解消と生活向上のためのセミナー実施</p> <p>実施内容：親子教室5回実施と継続的な日本語教室開催</p>	<p>大阪市西淀川区 対象者：福・出来島地域で工場勤務のフィリピン人・ブラジル人・ペルー人女性とその子ども</p> <p>支援方針：相談会開催による母親の悩み解消と生活向上のためのセミナー実施</p> <p>実施内容：親子教室5回実施（日本人との交流会1回、自治体との共催1回含む）</p>	<p>兵庫県尼崎市 対象者：尼崎市に在住する外国人女性とその子ども</p> <p>支援方針：生活向上のためのセミナー実施</p> <p>実施内容：親子教室5回実施</p>
---	---	---

結果

地域	親子教室	のべ参加者 <small>（子どもをもつ親の参加者1名につき1組と算定）</small>
大阪市淀川区	5回開催＋日本語教室	31組 43名（大人36、子ども7）
大阪市西淀川区	6回開催	25組 51名（大人30、子ども21）
兵庫県尼崎市	5回開催	5組 16名（大人10、子ども6）
合計		61組 110名（大人76、子ども34）

フィリピン・ペルー・ブラジルを中心に8カ国の外国人参加があった。また参加者の内、3分の1が当事業の重点対象であるシングルマザーであった。

【収入】5,676,191円

【支出】5,762,709円

【実施場所】大阪市淀川区・西淀川区、兵庫県尼崎市

【時期】2013年7月1日～2014年3月31日

【対象者】大阪市淀川区・西淀川区、兵庫県尼崎市在住外国人

【受託事業】H25 度大阪市ボランティア活動振興基金「外国人住民の就労・就学支援を目的としたセミナー・ルーム運営事業」

大阪市ボランティア活動振興基金地域福祉的な非営利法人支援事業（チャレンジ支援）助成を受けて実施した。外国人向けの就労・就学に結びつく日本語学習等の講座提供により外国人住民の生活状況改善を図るとともに、外国人の特技を活かした日本人向け講座を外国人講師が開催し、更に外国人講師を養成する講座を開講することで、相互的・実践的な多文化共生の推進に寄与することを目的とした事業。

- ・継続性のあるビジネスとするため、有料による講座を原則とする。
- ・当法人と関係の深い各種専門家の指導により有料に値する品質を維持する。
- ・有料の講師が担える外国人向け講師養成講座による就労モデル形成を実践する。

以上の事業方針に沿い、

- 1) 外国人向け講座
- 2) 日本人向け講座
- 3) 外国人講師の養成講座を実施した。

- 1) 外国人向け講座

①日本に住む外国人のための就職に役立つ日本語

全3回コースで、各回ごとに「読む」「書く」「話す」というテーマを設定しながら、就職に役立つ日本語のスキルアップを図った。日本語の上達だけではなく、インターネットでの仕事探しや面接の際のマナーなど、就職活動全般についても勉強できる内容とした。

第1回 2014年2月12日(水) 10:00~11:30

内容：求人票・求職票を読む

講師：御子神慶子氏（日本語教師、生活漢字をかんがえる会会員）

受講生：6名（ペルー2名、韓国2名、タイ1名、マダガスカル1名）

参加費：500円

第2回 2014年2月13日(木) 10:00~11:30

内容：履歴書・求職票を書く

講師：御子神慶子氏（日本語教師、生活漢字をかんがえる会会員）

受講生：6名（ペルー2名、韓国2名、タイ1名、マダガスカル1名）

第3回 2014年2月14日(金) 10:00~11:30

内容：面接の練習

講師：新庄あいみ氏（日本語教師、生活漢字をかんがえる会会員）

受講生：4名（ペルー2名、韓国2名）

参加費：500円

②TABUNKA SHINGAKU JUKU（たぶんか進学塾）

外国にルーツをもつ子どもたちのための学習塾を開講。全12回のコースで、対象は外国にルーツをもつ中学3年生および母国で中学校を卒業し、高校進学を目指している子どもとした。2014年2月20日(木)に実施される大阪府立高等学校入学者選抜試験合格を目標に英語・数学・母語作文・日本語指導を行った。

第1回 平成25年12月7日(土) 10:30~12:30 オリエンテーション・英語・数学

第2回 平成25年12月14日(土) 10:30~12:30 英語・作文

第3回 平成25年12月21日(土) 10:30~12:30 日本語・数学

- 第4回 平成25年12月25日(水) 13:00~15:00 英語・数学
- 第5回 平成25年12月26日(木) 10:30~12:30 英語・数学
- 第6回 平成26年1月6日(月) 10:30~12:30 英語・作文
- 第7回 平成26年1月11日(土) 10:30~12:30 日本語・数学
- 第8回 平成26年1月18日(土) 10:30~12:30 英語・数学
- 第9回 平成26年1月25日(土) 10:30~12:30 英語・作文
- 第10回 平成26年2月1日(土) 10:30~12:30 日本語・数学
- 第11回 平成26年2月8日(土) 10:30~12:30 英語・数学
- 第12回 平成26年2月15日(土) 10:30~12:30 英語・数学

受講生：9名(中国：6名、アメリカ1名、タイ1名、フィリピン1名)

参加費：1ヶ月3000円

講師：TABUNKA SHINGAKU JUKU 講師

2) 日本人向け講座

たぶんかウィーク

1週間にわたり、様々な講座を実施し、日本人が外国人から様々な文化を学ぶ機会を提供した。また、本講座については当センターと同じ地域(大阪市淀川区)で活動している国際交流のNPO団体「NPOもみじ」と共催で実施した。

日時：2014年1月20日(月)～2014年1月24日(金)

内容：曜日毎にテーマ設定をし、講座を開催した。

プログラム一覧：

	午前	午後	夜間
1月20日(月) 世界絵本の日		①ブラジル絵本をいっしょに読もう!	②アンデルセン童話落語
1月21日(火) アジアの日	③タイ・ソーブカービン グ講座	④世界のお茶カフェ	⑤ベトナム・ナイト
1月22日(水) アイヌの日		⑥アイヌ文化の展示	⑦アイヌ・ナイト
1月23日(木) モンゴルの日		⑧モンゴル文化の展示	⑨モンゴル・ナイト
1月24日(金) 南米の日	⑩親子で楽しむサンバ 教室	⑪大阪ラテンアメリカ の会の活動展示	⑫はじめてのラテンダンス

参加人数：

	参加者数
①ブラジルの絵本を読もう！	3名
②アンデルセン童話落語	6名
③タイ・カービング講座	3名
④世界のお茶カフェ	9名
⑤ベトナム・ナイト	7名
⑥アイヌの展示	3名
⑦アイヌ・ナイト	10名
⑧モンゴルの展示	3名
⑨モンゴル・ナイト	6名
⑩親子で楽しむサンバ	1名
⑪ラテンアメリカの会活動展示	4名
⑫はじめてのラテンダンス	1名
合計	56名

3) 外国人講師の養成講座

TABUNKA SHINGAKU JUKU (たぶんか進学塾) 講師養成講座

TABUNKA SHINGAKU JUKU の講師養成講座を全5回行った。養成講座参加者は日本人大学生及び大学院生が主だったが、3名の中国人留学生も参加した。養成講座終了後、講師登録面談を実施し、TABUNKA SHINGAKU JUKU 講師として7名(うち中国人留学生1名含む)を認定した。また、養成講座修了者の登録講師と TABUNKA SHINGAKU JUKU の反省や成果の振り返りと TABUNKA SHINGAKU JUKU の今後についての2回のミーティングを行った。

第1回 平成25年10月24日(木) 16:00~18:00

内容：外国にルーツを持つ子どもたちの現状

講師：坪内好子氏(元大阪市立中学校日本語教室教師、当センター理事)

受講生：9名

第2回 平成25年10月31日(木) 16:00~18:00

内容：教授法I

前半…大阪市における日本語教育指導について元大阪市立中学校日本語教室担当であった坪内好子氏よ

り講義を受けた

後半…母語作文指導について大阪市母語教室（タガログ語）担当講師・矢元貴美氏より講義を受けた

講師：坪内好子氏・矢元貴美氏

受講生：7名

第3回 平成25年11月7日（木）16:00～18:00

内容：教授法Ⅱ 前半…資格審査について 後半…カリキュラムを考えてみよう

講師：坪内好子氏

受講生：6名

第4回 平成25年11月14日（木）16:00～18:00

内容：実践編Ⅰ 高校入試制度の確認、入試問題の実践、講師の心構えについて、長年外国にルーツをもつ子どもたちを支援している棚田洋平氏より講義を受けた。

講師：棚田洋平氏

受講生：5名

第5回 平成25年11月21日（木）16:00～18:00

内容：実践編Ⅱ 指導案を立てよう

講師：坪内好子氏

受講生：6名

講師登録面談

日時：平成25年11月28日（木）16:00～18:00

講師登録者：7名

第1回ミーティング

日時：平成26年2月19日（水）13:00～14:30

内容：TABUNKA SHINGAKU JUKU の成果と課題について

参加者：講師登録者7名

第2回ミーティング

日時：平成26年3月12日（水）13:00～14:30

内容：TABUNKA SHINGAKU JUKU の今後について

参加者：講師登録者4名

成果と課題：

1) 外国人向け講座…就職活動に関する、あるいは仕事に関係するテーマで日本語の教室が開催されることは大阪市内では珍しく、講座終了後のアンケートは全員から「役に立った」と好評な講座であった。

TABUNKA SHINGAKU JUKU では母語等のサポートにより教科学習の理解を促すことができ、その結果、受講生 9 名全員が志望校へ合格した。また 2013 年 12 月より大阪市で始まった大阪市塾代助成事業の塾業者登録し、大阪市塾代助成カードを使用できる塾となり、大きな成果を残すことができた。

2) 日本人向け講座…1 週間にわたり様々な講座を展開したことが、集客に結び付いた。講師については基本的に外国にルーツをもつ人とし、彼らの持つ背景やスキルを十分に活かしてもらった。その国の人から聞くその国の文化は、参加者の心にダイレクトに響き、すべて有料の講座ではあったが、アンケート結果を見ると、参加者の満足度は高いものであった。しかし、小中学生向けの講座については、小中学生の参加がなく、曜日・時間設定および広報について、改善が必要である。

3) 外国人講師の養成…9 名の参加者のうち、3 名の中国人留学生であり、中国人留学生の中で講師登録をしたのはそのうち 1 名のみであった。外国人講師が 1 名のみ登録に終わったことから、内容については再考する必要がある。

【収 入】 1,049,551 円

【支 出】 1,077,700 円

【実施場所】 ダイバーシティラボ大阪セミナールーム（当センター事務所 1 階部分）

【時 期】 2013 年 7 月 1 日～2014 年 3 月 31 日

【対象者】 外国人住民および日本人住民

2 多文化共生に関する研修、調査、研究

講師派遣事業

自治体や国際交流センター等を中心に、全国からの講師派遣の依頼に応えた。依頼内容については、多文化共生概論が多い。講演の他、ワークショップを含めた研修も実施した。

▶ 派遣実績

研修依頼件数：8 件、講演依頼件数：14 件、会議出席 4 件、取材：1 件

西淀川区役所に～よんステーション「TABUNKA」6 件※

淀川区子ども子育てプラザ「はじめての世界旅行」8 件※ ※乳幼児親子来所施設

【収 入】 1,596,163 円

【支 出】 1,233,549 円

【実施場所】 全国

【時 期】 通年

【対 象 者】 自治体、NPO、研究者、市民等

3 多文化共生の概念を普及するための啓発及び情報発信

淀川ミュージック&クラフト

独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」助成事業。国籍、言葉の壁を越えるアート

制作や音楽を通して、外国にルーツをもつ子どもたちと日本の子どもたちが共に参加し、お互いに楽しみ、理解を深め合う機会としたが、残念ながら雨により中止。

【収 入】 240,953 円

【支 出】 295,501 円

【実施場所】 大阪市西淀川区 淀川河川敷公園（西中島地区）

【実施予定日】 2013年9月1日（延期日 2013年9月8日）

【対 象 者】 一般

多文化共生に関する報告書等の発行

▶ 販売実績

商品名	金額(税抜)	購入件数
多文化共生に関する自治体の取り組みの現状 ～都道府県および政令市における 多文化共生施策調査報告書～	23,810	5
外国人従業員従業員受入れに関する調査報告書 ～外国人研修生・技能実習生受入れに関する意識調査～	0	0
チェックシート報告書セット	4,762	1
チェックシート	0	0
災害時に役立つ！ 通訳・翻訳ボランティアハンドブック	7,621	8
多文化子どもの歌集(セット)	37,147	13
多文化子どもの歌集(CD)		0
多文化子どもの歌集(ブックレット)		0
外国人女性住民の相談ニーズ調査	0	0
その他ブックレット	0	0
委託販売(子どもの歌集)	7,441	4 セット、1 ブックレット
合計	80,781	32

【収 入】 80,781 円

【支 出】 3,397 円

【実施場所】 全国

【時 期】 通年

【対 象 者】 自治体、企業、NPO、研究者、市民等

IV. 社員総会の開催状況

2013 年度会員総会

1. 日 時 2013 年 5 月 30 日(木)13:30～15:00

2. 場 所 (特活) 多文化共生センター大阪 事務所
大阪市淀川区十三東 2-6-7 徳島ビル 2F

3. 出席者数

会員総数 24 名 出席 21 名 (本人出席 : 7 名、委任状出席 : 14 名)

定款第 27 条により、会員数 3 分の 1 以上の出席があり定足数を満たしているため、当総会が成立していることを確認した。

4. 議長、議事録署名人の選任

議長として、理事会より田村太郎が推薦され、満場一致で選任された。

議長が議事録署名人の選任について出席者に囚ったところ、議長一任の声があった。議長は、議事録署名人として、堀西雅亮、中村満壽央を指名した。

5. 議事の経過及び結果

第 1 号議案 2012 年度活動報告及び 2012 年度会計報告について承認を求める件

事務局より 2012 年度活動報告及び 2012 年度会計報告についての説明があり、議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認、可決した。

第 2 号議案 2013 年度活動計画 (案) 及び 2013 年度活動予算 (案) について承認を求める件

事務局より 2013 年度活動計画 (案) 及び 2013 年度活動予算 (案) についての説明があり、議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認、可決した。

第 3 号議案 定款の変更について承認を求める件

事務局より活動計算書についての変更に伴う定款の変更についての説明があり、議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認、可決した。

第 4 号議案 2013 年度役員選任について承認を求める件

議長は、2013 年度役員選任案を示し、その承認を求めたところ、満場一致で承認、可決し、各人はその場で就任を承諾した。

理事 田村太郎

理事 堀西雅亮

理事 中村満壽央

理事 東口千津子

理事 永井美佳
理事 山本千恵
理事 坪内好子
監事 勇上澄子

V. 理事会その他の役員会の開催状況

第1回理事会

日 時：2013年6月10日（月）
場 所：（特活）多文化共生センター大阪事務所
審議事項：
1. 理事の互選について

第2回理事会

日 時：2014年1月23日（木）
場 所：（特活）多文化共生センター大阪事務所
審議事項：
1. 2013年度事業について
2. 2014年度事業について
3. 2013年度収支について

2013 年度会計報告

2013年度特定非営利活動事業活動計算書
 特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪
 2013年4月1日～2014年3月31日

科目	決算額		備考
(収入の部)			
1. 会費収入	120,000	120,000	10,000円×2名、5000円×20名(前年度2名分含む)
2. 寄付金収入	770,355	770,355	
3. 事業収入		10,923,396	
◆日本で生活する外国人への支援活動	9,005,499		
└「サタデイクラス」	263,817		
└「多文化進路ガイダンス」への協力	0		
└「Minamiこども教室」への協力	111,300		
└「日本で暮らしている外国人のための漢字教室」	1,904,640		
└「外国人母子の生活支援モデル事業」	5,676,191		
└「外国人就労・就学支援を目的としたセミナー・ルーム運営事業」	1,049,551		
◆多文化共生に関する研修、調査、研究及び広報	1,596,163	1,596,163	
└講師派遣事業	1,596,163		
◆多文化共生の概念を普及するための啓発及び情報発信	321,734	321,734	
└淀川ミュージック&クラフト	240,953		
└多文化共生に関する報告書等の発行	80,781		
4. その他の事業繰入金		0	
5. その他収入	28,971	28,971	
└雑収入	28,645		
└受取利息	326		
当期収入合計		11,842,722	
(支出の部)			
1. 事業費		10,668,649	
◆日本で生活する外国人への支援活動	9,136,202		
└「サタデイクラス」	523,589		
└「多文化進路ガイダンス」への協力	0		
└「Minamiこども教室」への協力	41,100		
└「日本で暮らしている外国人のための漢字教室」	1,731,104		
└「外国人母子の生活支援モデル事業」	5,762,709		
└「外国人就労・就学支援を目的としたセミナー・ルーム運営事業」	1,077,700		
◆多文化共生に関する研修、調査、研究及び広報	1,233,549	1,233,549	
└講師派遣事業	1,233,549		
◆多文化共生の概念を普及するための啓発及び情報発信	298,898	298,898	
└淀川ミュージック&クラフト	295,501		
└多文化共生に関する報告書等の発行	3,397		
2. 管理費		1,583,143	
人件費	288,000		
法定福利費	275,455		
福利厚生費	0		
採用教育費	0		
会議費	416		
旅費交通費	49,567		
通信費	85,737		
事務用消耗品費	18,892		
諸会費	19,048		
支払手数料	31,999		
地代家賃	471,572		
リース料	0		
租税公課	29,801		
支払報酬	100,000		
雑費	60,176		
印刷製本費	6,117		
雑損失	76,363		
法人税・住民税及び事業税	70,000		
当期支出合計		12,251,792	
当期収支差額		-409,070	
前期繰越金		1,488,262	
予備費		0	
次期繰越金		1,079,192	

財産目録(特定非営利活動に係る事業)
 特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪
 2014年3月31日現在

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	33,420	
現金 サタデイクラス	31,032	
郵便振替口座	568,451	
普通預金1 UFJ谷町	6,672	
普通預金2 UFJ玉造	0	
普通預金3 リそな	483	
普通預金4 UFJ入金	495,046	
普通預金5 UFJ出金	63,494	
普通預金6 サタデイクラス	231,399	
普通預金7 WAM	1,366,911	
未収入金	2,102,045	
貯蔵品	326,638	
立替金	0	
前払費用	45,000	
仮払金	0	
その他の流動資産	0	
流動資産合計		5,270,591
2. 固定資産		
工具器具備品	0	
電話加入権	0	
敷金	0	
差入保証金	0	
その他の固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		5,270,591
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	3,338,073	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	85,000	
預り金	41,826	
前受金	300,000	
その他流動負債	0	
流動負債合計		3,834,899
2. 固定負債		
長期借入金	356,500	
固定負債合計		356,500
負債合計		4,191,399
正味財産(資産合計-負債合計)		1,079,192

2013年度 会計貸借対照表及び財産目録(特定非営利活動に係る事業)

特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪

2013年4月1日～2014年3月31日

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	33,420	
現金 サタディクラス	31,032	
郵便振替口座	568,451	
普通預金1 UFJ谷町	6,672	
普通預金2 UFJ玉造	0	
普通預金3 リそな	483	
普通預金4 UFJ入金	495,046	
普通預金5 UFJ出金	63,494	
普通預金6 サタディクラス	231,399	
普通預金7 WAM	1,366,911	
未収入金	2,102,045	
貯蔵品	326,638	
立替金	0	
前払費用	45,000	
仮払金	0	
その他の流動資産	0	
流動資産合計		5,270,591
2. 固定資産		
工具器具備品	0	
電話加入権	0	
敷金	0	
差入保証金	0	
その他の固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		5,270,591
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	3,338,073	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	85,000	
預り金	41,826	
前受金	300,000	
その他流動負債	0	
流動負債合計		3,834,899
2. 固定負債		
長期借入金	356,500	
固定負債合計		356,500
負債合計		4,191,399
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		1,488,262
当期正味財産増加額		▲ 409,070
正味財産		1,079,192
負債及び正味財産合計		5,270,591